

GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 255

2018/03/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

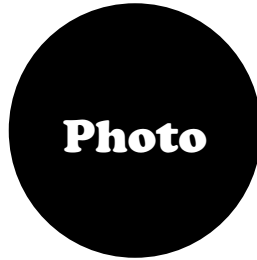
GREEN COLUMN

01. 絵模様付礫のお仲間発見？

02. 大美博展！開催！！



今月の一枚



「ひなまつりとひな人形」

表紙写真・文／八重柏誠

3月3日は桃の節句、ひな祭りです。博物館ではこの日まで、ロビー展「ひなまつりとひな人形」を開催しています。博物館でひな人形を飾るのは久しぶりでしたが、人形に傷みがないようで一安心。

7段飾りのひな人形を飾ったことで、2階ロビーは華やかな雰囲気です。最近では、飾るスペースの制約からガラスケースに入った内裏雛が主流となってきていますが、やはり7段飾りはいいものですね。

Event. 今月のイベント

特別展「大美博展」 3月24日(土)～7月1日(日)

プチ工房「ヘンプのブレスレット」 3月14日(水), 16日(金)

博物館講座「私たちのふるさと情報」 3月24日(土)

Information. 参加者募集

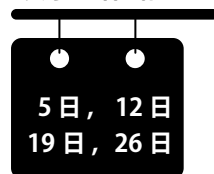
プチ工房 「ヘンプのブレスレット」

● 3/14(水), 16(金) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費(200円) ●八重柏誠(美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座 「私たちのふるさと情報」

【講演会】● 3/24(土) 9:30-12:00 ●博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●美幌高等学校生徒, 和久井彬実氏(北海道大学), 澤村寛氏(足寄動物化石博物館) ●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員50名で締切。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

えもようつきれき

絵模様付礫の お仲間発見？

図・文／八重柏誠



昨年11月30日、ある石器が新聞朝刊の1面を飾っていました。木古内町幸連5遺跡から出土した、黒色の顔料で人の顔を描いたとされる石器です。この石器は砂岩を素材に、1辺が約12cm、厚さ約1.4cmの三角形に加工されているそうです（左図）。三脚石器や三角岩版と呼ばれる石器に似ている印象を受けました。恐らく、祭祀儀礼などに関わる用途で用いられた石器の一種ではないかと思います。

人の顔に限らず、顔料で絵を描いた縄文時代の石器は、それ自体が非常に珍しいとされています。美幌町では「絵模様付礫」と名付けられた石器が出土しており、町指定文化財に指定されています。絵模様付礫は1辺が約8cmの扁平な隅丸三角形の礫に、黒色の顔料で円形とそこから放射状にのびる6本の線が描かれており、太陽のようだ、亀のように見えるなど、見る人によっ

て様々な解釈がされています（右図）。

さて、木古内町の顔が描かれた石器と絵模様付礫を見比べると、もう一つ共通点が見つかりました。形が三角形であることです。木古内町のは、砥石のようなもので縁辺を加工し、三角形になるよう形が整えられています。美幌町のは、加工されてはいませんが、材料を選定する際に三角形の礫を選んで使ったように思えます。三角形の石に絵を描くことにどんな意味があったのか、気になるところです。

絵模様付礫は、3月24日から始まる特別展「大美博展」で、一部の期間のみ公開を予定しています。この機会に、縄文人の精神文化の一端に触れていただければと思います。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

大美博展！ 開催！！

写真・文／町田善康



子どもの頃、両親に連れられて博物館へ行きました。そこには見上げるほど大きな恐竜の骨格標本があり、こんな生き物が地球上にいたのかと、ワクワク・ドキドキしました。それから、すっかり恐竜にハマリ、毎日恐竜図鑑を眺め、道端に石があれば割ってみるという幼少期を過ごしました。残念ながら化石の発見には至りませんでした。自然好きな男の子が一度は経験するだろう恐竜ブームでした。

さて、美幌町でも化石を見つけることができる場所があります。それは町西部の網走川沿いにある「津別層」と呼ばれる、今から約 3,000 万年前に形成された地層の中です。この地層は、かつて美幌町が海（あるいは湖沼）だった場所であることを示しています。その証拠に、2002（平成 14）年、木村利昭氏によって、この地層の中から、

クジラ類の^{ようつい}腰椎骨の化石が発見されました。町内での動物化石の発見はこれが初めてのことで、学術的にも大きな発見となりました。

3 月 24 日から始まる、第 27 回特別展「大美博展」では、美幌町で見つかった化石はもちろんのこと、足寄町・釧路市・斜里町の博物館から動物化石をお借りし、展示します。全身骨格を復元した化石（レプリカ）や、津別層から発見された正体不明の動物化石（足寄動物化石博物館 収蔵資料）など、一見の価値あるものばかりです。

化石が好きなお子さんや、見に来てくれた皆さんがワクワク・ドキドキできる展示を目指して残り 1 か月弱、準備を進めていきます。楽しい展示会になると思いますので、ぜひ足をお運びください。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



.....

今年度は、相生線で GO! に始まり、サハリン渡航、そして大美博展と目まぐるしい日々を過ごし、ホントに勉強した1年でした。しかし、今まで知らなかったことがわかったと、自分の世界が広がります。せて、そろそろ雪解け。春からはどんな世界が広がるのでしょうか。ワクワクします。(町田)